

2023年5月10日

各位

会社名 三菱ロジスネクスト株式会社  
代表者 代表取締役社長 間野 裕一  
(コード番号 7105 東証スタンダード)  
問合せ先責任者 財務本部財務部長 望月 宏樹  
(TEL 075-951-7171)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

2023年2月7日に発表いたしました「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

在外子会社が行っているセール・アンド・リースバック取引の一部に係る会計処理に関し、再検討を行った結果、リース資産及びリース債務の一部については、機械装置及び運搬具とその他流動負債及びその他固定負債として取り扱われることが判明したため、その一連の会計処理を訂正いたしました。

2. 主たる訂正内容

四半期連結貸借対照表の固定資産が24億7百万円増加、流動負債が8千1百万円減少、固定負債が24億8千8百万円増加しております。損益に与える影響は軽微のため、四半期連結損益計算書の変更はございません。

3. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから上記の訂正事項については、訂正後のみを記載しています。

以上

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間野 裕一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部財務部長 (氏名) 望月 宏樹 TEL 075-951-7171  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	440,958	30.9	7,624	156.1	6,263	128.0	2,881	731.9
2022年3月期第3四半期	336,830	18.5	2,977	465.7	2,746	509.3	346	ー

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 7,963百万円(97.4%) 2022年3月期第3四半期 4,033百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	27.02	26.91
2022年3月期第3四半期	3.25	3.24

(参考) のれん等償却前営業利益 2023年3月期第3四半期15,254百万円(52.1%)  
 2022年3月期第3四半期10,028百万円(30.5%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	469,845	70,875	15.0	658.91
2022年3月期	405,601	63,737	15.6	592.02

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 70,273百万円 2022年3月期 63,131百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	ー	ー	8.00	8.00
2023年3月期	ー	ー	ー		
2023年3月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610,000	31.1	11,500	220.1	10,000	208.6	3,500	388.0	32.82

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社、除外 一社 （社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	106,658,013株	2022年3月期	106,645,013株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	7,216株	2022年3月期	7,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	106,646,097株	2022年3月期3Q	106,586,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9
3. その他 .....	10
参考情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、インフレ抑制を目的とした各国中央銀行による利上げや昨年2月以来のロシアによるウクライナ侵攻の影響から停滞、減速状況が続いております。また、コロナ禍からの急激な回復局面で引き起こされた、資源高・原材料市況や輸送運賃の高騰・サプライチェーンの混乱も、地域差はあるものの依然として高い水準で継続しています。

このような中、フォークリフトを始めとする物流機器市場は、国内においては、コロナ禍前と同様の水準で堅調に推移しており、海外においては、米州では景気の減速感もあって買い控えによる若干の需要減少はあるものの物流ニーズは底堅く、依然としてコロナ禍前を上回る需要が継続しております。その一方で、欧州はロシアのウクライナ侵攻以降の資源高などで企業活動が鈍化して、コロナ禍前の水準は維持しながらも縮小傾向で推移しております。また、アジアは好調であった前年度よりもさらに高い水準で推移しておりますが、中国は昨年12月までのゼロコロナ政策の推進などにより需要の減速感は否めません。

当社においては、半導体不足から始まった様々な部品供給の遅れによるリードタイムの長期化、原材料費・輸送費を始めとしたコスト高は前年度から継続していますが、グループ各社の受注は、地域差はあるものの全体としては概ね順調です。また、国内、海外において生産の整流化に努め、年度前半に比して生産、出荷を進めることができ、それに伴い価格改定の効果も出てきております。しかしながら、世界経済の先行きは依然、厳しいものと想定され、予断を許さない状況が続いていることにより、引き続き部品供給を確保しながら生産整流化による更なる出荷促進に取り組むとともに、併せてコストの削減にも注力してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、4,409億5千8百万円（前年同期比30.9%増加）となりました。利益面については、原材料や輸送費の高騰影響を受けながらも、売上高の増加に加え、価格改定の効果が大きく出てきていることなどにより、営業利益は76億2千4百万円（前年同期比156.1%増加）、経常利益は62億6千3百万円（前年同期比128.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億8千1百万円（前年同期比731.9%増加）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、営業利益は152億5千4百万円（前年同期比52.1%増加）となり、営業利益率は3.5%（前年同期比0.5ポイント増加）となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### 〔国内事業〕

国内事業は、受注は堅調に推移しているものの、年度前半の部品欠品のための出荷不足により、売上高は1,271億2千1百万円（前年同期比0.9%減少）となりました。セグメント損失は、売上高の減少に加え、コスト高の影響もあり、2億7千万円（前年同期15億1千3百万円の利益）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は33億5千2百万円（前年同期比34.3%減少）となっております。

#### 〔海外事業〕

海外事業は、米州、欧州を中心とした販売台数の増加に加え、為替の円安影響が追い風となり、売上高は3,138億3千6百万円（前年同期比50.5%増加）となりました。セグメント利益は、売上高の増加や価格改定効果も寄与し、78億9千5百万円（前年同期比439.3%増加）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は119億2百万円（前年同期比141.7%増加）となっております。

特に米州においては、好調な受注を背景とした売上高の大幅な増加に加え、販売子会社のレンタル事業の好調や価格改定効果もあり、これらがセグメント利益の増加に寄与しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、4,698億4千5百万円となり、前連結会計年度末より642億4千4百万円増加しました。流動資産は、為替の円安影響に加え、売上債権の増加、棚卸資産の増加等により326億9千4百万円増加しました。固定資産は、会計方針の変更で機械装置及び運搬具やリース資産が増加したこと等により、315億4千9百万円増加しました。負債合計は、3,989億6千9百万円となり、前連結会計年度末より571億5百万円増加しました。主な要因は、為替の円安影響に加え、会計方針の変更によるリース債務、その他流動負債及びその他固定負債の増加、借入金の増加によるものです。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと702億7千3百万円となり、前連結会計年度末より71億4千1百万円増加しました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加に加え、利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年11月1日に公表したのから変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,562	20,595
受取手形、売掛金及び契約資産	82,382	94,007
電子記録債権	2,030	2,327
商品及び製品	50,602	64,451
仕掛品	13,346	16,139
原材料及び貯蔵品	32,773	34,592
その他	45,155	39,465
貸倒引当金	△1,274	△1,307
流動資産合計	237,578	270,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,866	21,369
機械装置及び運搬具(純額)	48,630	64,705
土地	21,841	22,064
リース資産(純額)	6,901	25,271
その他(純額)	4,034	4,132
有形固定資産合計	102,273	137,544
無形固定資産		
のれん	30,106	28,610
その他	16,900	15,233
無形固定資産合計	47,007	43,844
投資その他の資産		
投資有価証券	7,139	6,909
その他	11,659	11,333
貸倒引当金	△56	△59
投資その他の資産合計	18,742	18,184
固定資産合計	168,023	199,573
資産合計	405,601	469,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,504	75,224
電子記録債務	17,191	8,346
短期借入金	46,507	64,925
リース債務	2,983	6,906
未払法人税等	3,862	749
賞与引当金	4,348	2,251
役員賞与引当金	68	64
製品保証引当金	3,062	2,987
関係会社整理損失引当金	75	75
その他	39,100	47,175
流動負債合計	180,704	208,706
固定負債		
長期借入金	131,678	132,648
リース債務	7,013	17,571
製品保証引当金	2,247	2,446
役員退職慰労引当金	9	7
退職給付に係る負債	15,907	16,362
その他	4,302	21,226
固定負債合計	161,159	190,263
負債合計	341,863	398,969
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,924	4,927
資本剰余金	34,762	34,765
利益剰余金	10,644	12,672
自己株式	△2	△2
株主資本合計	50,328	52,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,380	2,156
為替換算調整勘定	10,533	15,751
退職給付に係る調整累計額	△111	2
その他の包括利益累計額合計	12,803	17,910
新株予約権	273	297
非支配株主持分	333	304
純資産合計	63,737	70,875
負債純資産合計	405,601	469,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	336,830	440,958
売上原価	260,618	342,476
売上総利益	76,212	98,481
販売費及び一般管理費	73,234	90,856
営業利益	2,977	7,624
営業外収益		
受取利息	422	546
受取配当金	84	196
持分法による投資利益	3	71
為替差益	114	63
補助金収入	20	27
その他	327	263
営業外収益合計	972	1,167
営業外費用		
支払利息	1,094	2,312
その他	109	216
営業外費用合計	1,203	2,529
経常利益	2,746	6,263
特別利益		
固定資産売却益	112	1,283
投資有価証券売却益	11	4
受取保険金	2	—
特別利益合計	126	1,288
特別損失		
固定資産処分損	132	82
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	12
関係会社整理損	—	407
減損損失	171	—
その他	—	178
特別損失合計	303	681
税金等調整前四半期純利益	2,569	6,870
法人税、住民税及び事業税	1,863	2,974
法人税等調整額	330	1,041
法人税等合計	2,193	4,016
四半期純利益	375	2,854
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	29	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	346	2,881

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	375	2,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	316	△224
為替換算調整勘定	2,896	5,220
退職給付に係る調整額	432	114
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△1
その他の包括利益合計	3,658	5,109
四半期包括利益	4,033	7,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,999	7,988
非支配株主に係る四半期包括利益	33	△25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASC842号「リース」の適用)

米国会計基準を適用する在外子会社について、ASC842号「リース」を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより、当該在外子会社における借手のリース取引については、原則すべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。また、セール・アンド・リースバック取引を再評価し、売却処理に該当しないと結論付けた取引について、金融取引として会計処理しており、譲渡資産を引き続き認識し、譲渡収入を金融負債として認識する会計処理を適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の連結貸借対照表においては、有形固定資産の機械装置及び運搬具(純額)が11,245百万円とリース資産(純額)が20,627百万円、流動負債のリース債務が5,660百万円とその他が1,060百万円、固定負債のリース債務が15,012百万円とその他が10,139百万円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	128,333	208,497	336,830	—	336,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,277	1,335	36,613	(36,613)	—
計	163,610	209,833	373,443	(36,613)	336,830
セグメント利益又は損失(△)	1,513	1,464	2,977	—	2,977

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額です。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に变更しております。

当該変更により、従来の方々に比べて、当第3四半期連結累計期間の国内事業の売上高は1,295百万円減少、セグメント利益は108百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	127,121	313,836	440,958	—	440,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,762	1,496	42,258	(42,258)	—
計	167,883	315,333	483,217	(42,258)	440,958
セグメント利益又は損失(△)	△270	7,895	7,624	—	7,624

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額です。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

## 3. その他

## 参考情報：2023年3月期 第3四半期決算&lt;連結&gt;

## 1. 決算ハイライト

(単位：億円)

	2022年3月期					2023年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	1,080.7	1,080.1	1,207.3	1,285.7	4,654.0	1,352.9	1,442.9	1,613.6		4,409.5
営業利益<のれん等償却前> (営業利益率)	34.7 3.2%	28.2 2.6%	37.2 3.1%	29.8 2.3%	130.1 2.8%	10.8 0.8%	51.2 3.5%	90.3 5.6%		152.5 3.5%
のれん等償却	△ 22.7	△ 24.7	△ 23.0	△ 23.7	△ 94.2	△ 26.8	△ 24.4	△ 24.9		△ 76.3
営業利益<のれん等償却後> (営業利益率)	12.0 1.1%	3.5 0.3%	14.1 1.2%	6.1 0.5%	35.9 0.8%	△ 15.9 △1.2%	26.7 1.9%	65.4 4.1%		76.2 1.7%
経常利益 (経常利益率)	11.9 1.1%	2.4 0.2%	13.1 1.1%	4.9 0.4%	32.4 0.7%	△ 14.7 △1.1%	24.9 1.7%	52.3 3.2%		62.6 1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	△ 0.3 △0.0%	0.6 0.1%	3.1 0.3%	3.7 0.3%	7.1 0.2%	△ 15.3 △1.1%	1.8 0.1%	42.3 2.6%		28.8 0.7%

## 為替レート

(単位：円)

USD	109.49	109.80	111.11	112.38		129.57	133.97	136.51		
EUR	131.93	130.88	130.61	130.56		138.12	138.73	140.59		

## 2. セグメント情報

(単位：億円)

	2022年3月期					2023年3月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	
売上高	国内事業	409.2	426.9	447.0	456.2	1,739.5	390.1	413.1	467.9		1,271.2
	海外事業	671.4	653.1	760.3	829.5	2,914.5	962.8	1,029.8	1,145.6		3,138.3
営業利益	国内事業	11.3	16.0	23.6	12.5	63.5	2.8	6.2	24.3		33.5
	海外事業	23.4	12.1	13.5	17.3	66.5	7.9	45.0	66.0		119.0

※営業利益はのれん等償却前営業利益

## 地域別売上高

(単位：億円)

地域	2022年3月期					2023年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
日本	409.2	426.9	447.0	456.2	1,739.5	390.1	413.1	467.9		1,271.2
米州	400.4	404.4	475.8	515.5	1,796.3	616.4	691.9	784.3		2,092.7
欧州	196.4	171.8	204.4	232.3	805.0	253.4	233.5	264.0		751.0
アジア・中国	74.6	76.9	79.9	81.5	313.0	92.9	104.4	97.2		294.5
計	1,080.7	1,080.1	1,207.3	1,285.7	4,654.0	1,352.9	1,442.9	1,613.6		4,409.5

## 3. フォークリフト販売台数

(単位：千台)

	2022年3月期					2023年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
国内	7	7	8	8	29	6	6	7		19
海外	18	16	19	21	74	21	19	22		61
合計	25	23	27	28	103	27	25	29		81